

# 県内経済動向調査結果（平成23年2月分）

平成23年 4月15日  
企業活性化・雇用緊急対策本部  
（産業政策課）

## 概 況

県内経済は、総じて厳しい状況の中で、製造業を中心に持ち直しの動きを続けてきたが、改善の動きに一服感が見受けられる。なお、東日本大震災の発生による、今後の経済活動への影響が懸念される。

主な業種	状 況
製 造 業	持ち直しの動きを続けてきたが、改善の動きに一服感が見受けられる。 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比5.0%増、同4.0%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲3.7から▲22.5となった。
建 設 業	公共工事の減少により弱めの動きが続いている。 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比47.3%減、同4.1%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲60.0となった。
小 売 業	薄型テレビの売れ行きは落ち込んでいるものの、白物家電が好調なほか、飲料品も堅調に推移している。 売上高は前年同月比6.5%増、3カ月先の業況見通しDIは▲24.1から▲44.4となった。
サービス業	運輸業で燃料価格高騰に伴い売上額は増加したものの、採算面の悪化が見受けられる。 売上高は前年同月比1.1%増、3カ月先の業況見通しDIは0.0から▲44.4となった。

# 製造業の動向

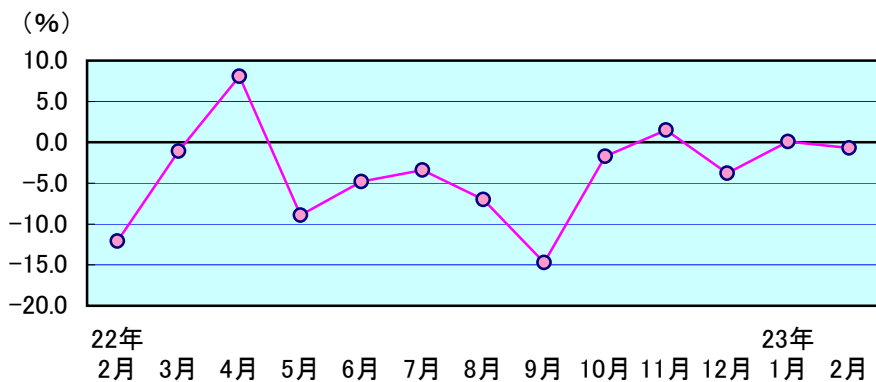
## 1 食料品

### 弱めの動きとなっている

生産額は前年同月比0.7%減。3カ月先の業況見通しDIは▲14.3から▲71.4となった。

一部の加工食品製造業において、季節商品の売上げが伸長したが、一部の酒類製造業においては、前年同月を下回る状況が続いているなど、全体としても弱めの動きとなっている。

食料品生産額前年同月比



	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年	1月	2月
食料品	-12.1	-1.1	8.1	-8.9	-4.8	-3.4	-7.0	-14.7	-1.7	1.5	-3.8	0.1	-0.7		

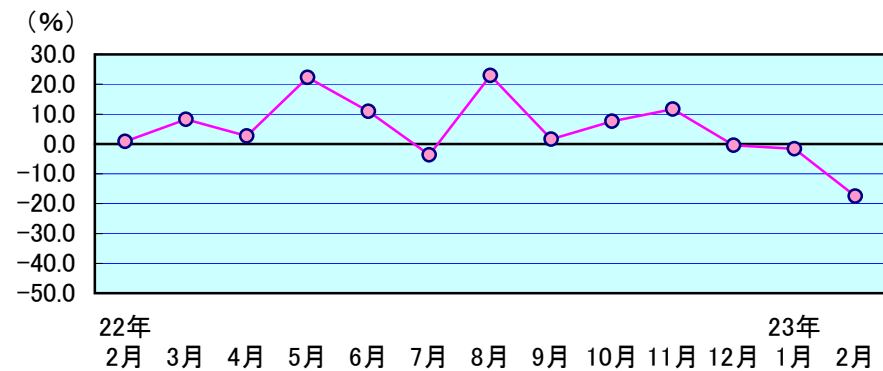
## 2 繊維・衣服

### 弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比17.5%減、同5.3%増。3カ月先の業況見通しDIは33.3から▲16.7となった。

縫製業界全体として売上げの伸び悩みが続いているものの、一部企業において、中国工場の縮小に伴い生産の一部が国内にシフトされ、生産額が増加している。

繊維・衣服生産額前年同月比



	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年	1月	2月
繊維・衣服	0.8	8.2	2.7	22.3	10.9	-3.7	22.9	1.6	7.6	11.7	-0.5	-1.6	-17.5		

### 3 木材・木製品

#### やや強含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比15.2%増、同24.2%増。3カ月先の業況見通しDIは0.0から▲20.0となった。

合板において、一部企業で販売単価が値上がりしたことから、全体の生産額が前年同月を上回っている。

なお、今年度の県内新設住宅着工戸数は前年度を3.9%上回っているものの依然として低水準であり、住宅市況の落ち込みが懸念される。

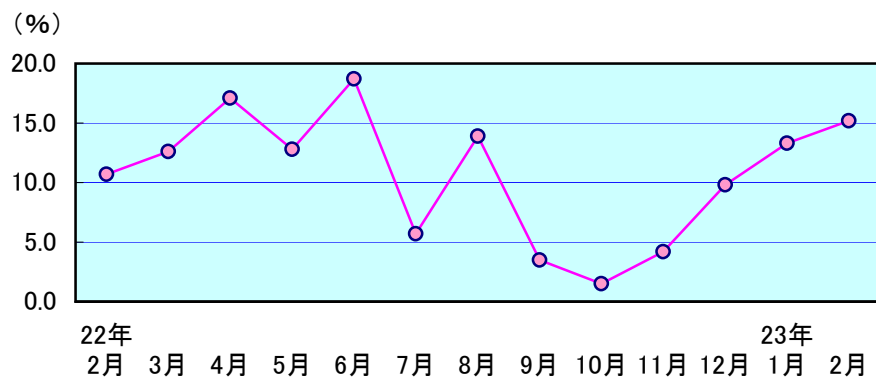
### 4 鉄鋼・金属製品

#### 横ばいとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比11.0%増、同21.3%増。3カ月先の業況見通しDIは▲10.0と横ばいであった。

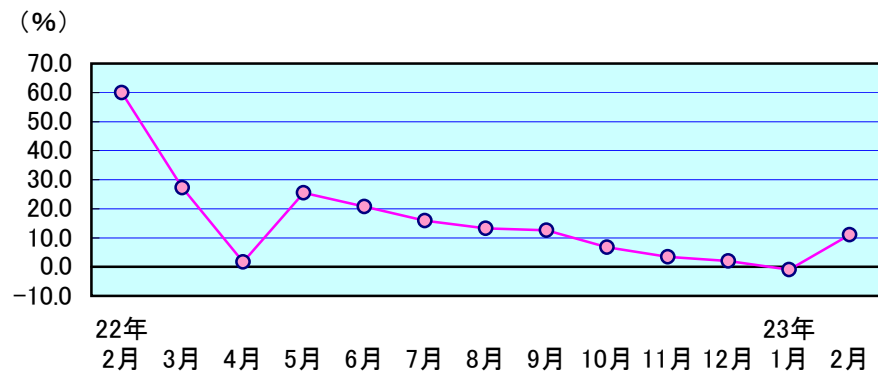
産業設備関連の一部企業で受注件数が減少しているものの、鋼管関連の一部企業で受注が好調に推移しており、全体としても生産額が前年同月を上回った。

木材・木製品生産額前年同月比



	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年	1月	2月
木材・木製品	10.7	12.6	17.1	12.8	18.7	5.7	13.9	3.5	1.5	4.2	9.8	13.3	15.2		

鉄鋼・金属生産額前年同月比



	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年	1月	2月
鉄鋼・金属	60.0	27.3	1.7	25.5	20.7	15.9	13.3	12.6	6.8	3.4	2.0	-1.0	11.0		

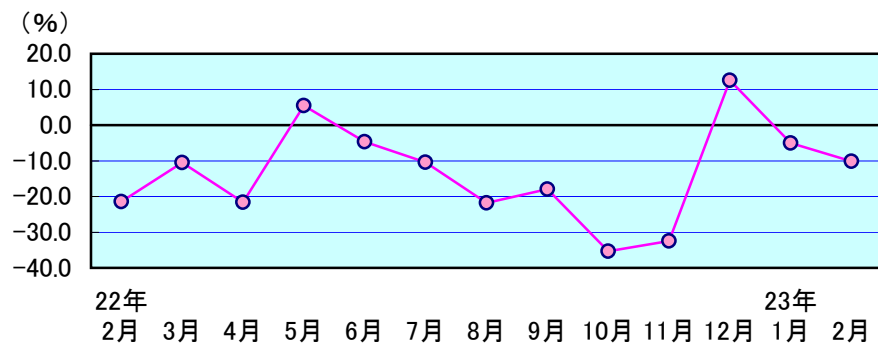
## 5 一般機械

### 弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比10.1%減、同18.4%減。3カ月先の業況見通しDIは▲25.0と横ばいであった。

産業機械設備や工作機械などで受注動向が思わしくなく、ほとんどの対象企業で前年同月を下回っており、弱めの動きが続いている。

一般機械生産額前年同月比



	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年	1月	2月
一般機械	-21.4	-10.5	-21.6	5.5	-4.7	-10.4	-21.8	-17.9	-35.3	-32.5	12.6	-5.0	-10.1		

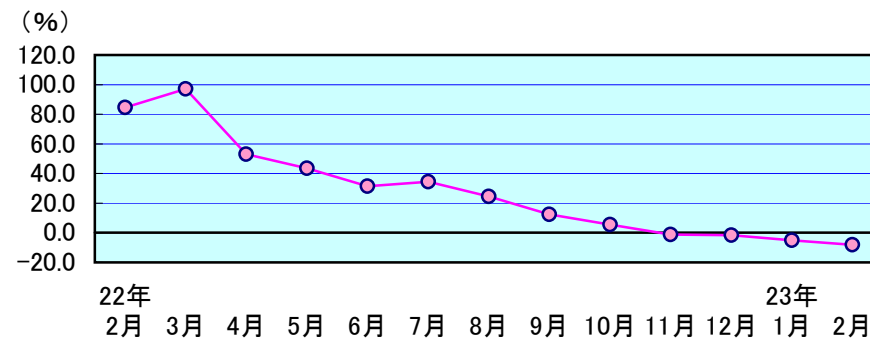
## 6 電気機械

### 弱含みとなっている

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比8.2%減、同8.7%減。3カ月先の業況見通しDIは10.5と横ばいであった。

一部企業で、海外受注の減少やエコカー補助金終了に伴う生産の落ち込みにより、引き続き生産額は前年同月を下回っている。また、今年度の生産額の動向についても低調に推移している。

電気機械生産額前年同月比



	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年	1月	2月
電気機械	84.5	97.2	53.1	43.6	31.4	34.4	24.5	12.4	5.5	-1.2	-1.6	-5.1	-8.2		

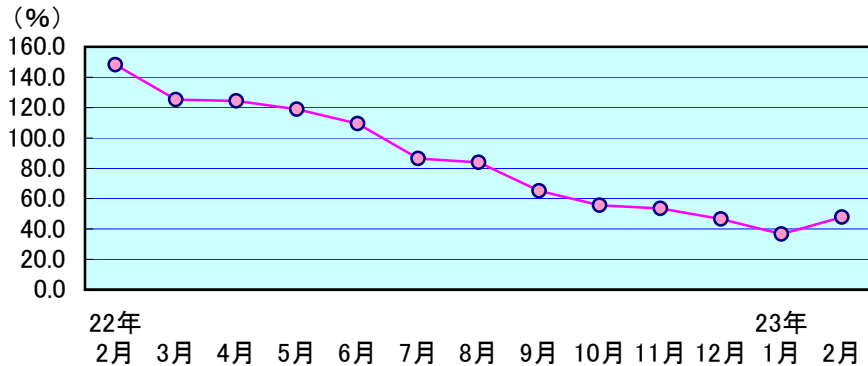
## 7 輸送機械

### 回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比47.8%増、同49.4%増。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0と横ばいであった。

一部企業で、国の補助事業終了に伴う生産量の減少がみられるなど、国内需要は低調となっているものの、海外需要が引き続き堅調であることから、全体の生産額は底堅く推移している。

輸送機械生産額前年同月比



	22年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月
輸送機械	148.1	125.3	124.4	118.8	109.5	86.5	83.9	65.1	55.6	53.6	46.6	36.7	47.8

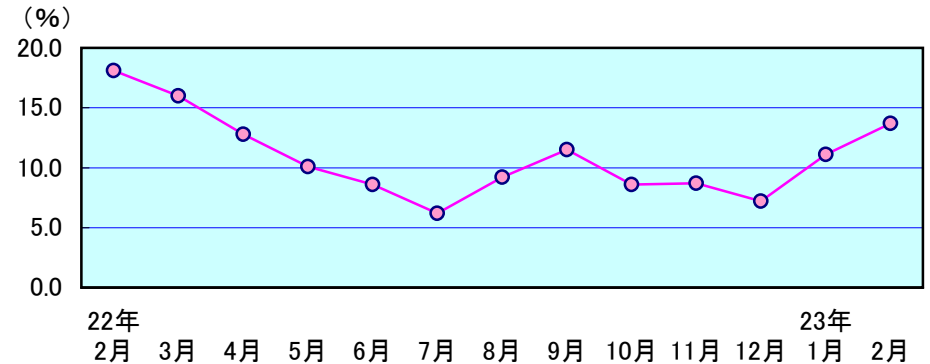
## 8 精密機械

### 回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比13.7%増、同0.2%増。3カ月先の業況見通しDIは12.5から▲14.3となった。

デジタルカメラ関連部品や医療関連商品など、総じて生産額が増加しており、一部企業では雇用を増加し対応するなど、好調さを維持している。

精密機械生産額前年同月比



	22年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月
精密機械	18.1	16.0	12.8	10.1	8.6	6.2	9.2	11.5	8.6	8.7	7.2	11.1	13.7

## 建設業の動向

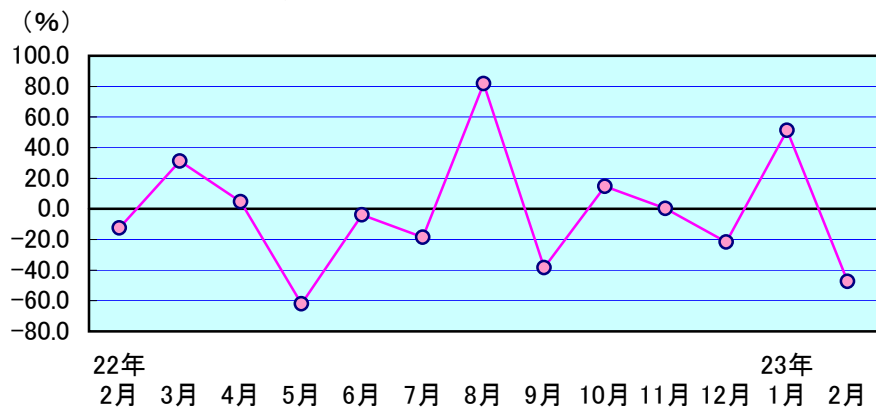
### 建設業

#### 公共工事の減少により弱めの動きが続いている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比47.3%減、同4.1%増。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲60.0となった。

一部企業で受注額が前年同月を大幅に下回るなど、全体的な公共投資は減少傾向にあることから、弱めの動きが続いている。

建設業受注額前年同月比



	22年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月
建設業	-12.5	31.3	4.7	-62.0	-3.8	-18.5	81.9	-38.5	14.8	0.3	-21.7	51.2	-47.3

## 小売業の動向

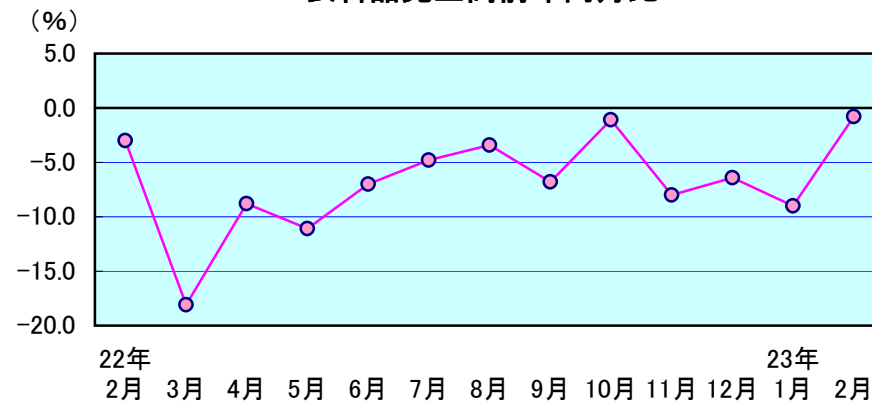
### 1 衣料品

#### 弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比0.8%減。3カ月先の業況見通しDIは▲40.0から▲50.0となった。

大雪の影響により客数が減少するなど、売上額が前年同月を下回っており、総じて厳しい状況が続いている。

衣料品売上高前年同月比



	22年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月
衣料品	-3.0	-18.1	-8.8	-11.1	-7.0	-4.8	-3.4	-6.8	-1.1	-8.0	-6.4	-9.0	-0.8

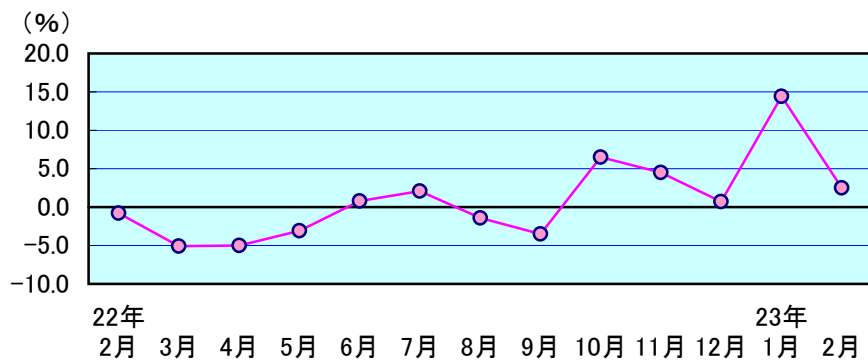
## 2 身回品

### やや強含みとなっている

売上高は前年同月比2.5%増。3カ月先の業況見通しDIは▲28.6から▲42.9となった。

一部企業において、大雪の影響により除雪関連用品の売れ行きが好調なことから売上額が前年同月を上回っており、全体としても前年同月を上回っている。

身回品売上高前年同月比



	22年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月
身回品	-0.8	-5.1	-5.0	-3.1	0.8	2.1	-1.4	-3.5	6.5	4.5	0.7	14.4	2.5

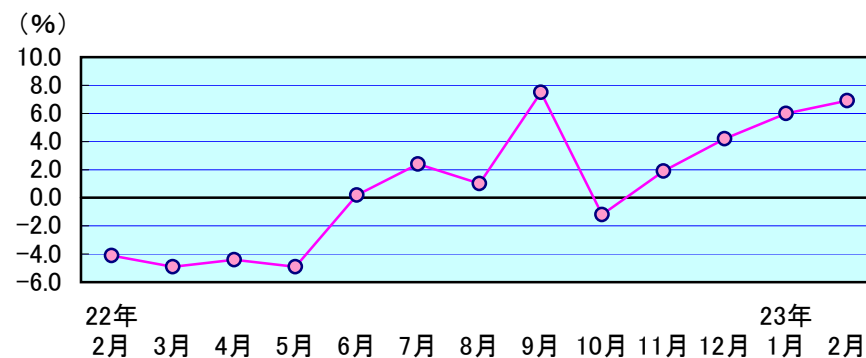
## 3 飲食料品

### やや強含みとなっている

売上高は前年同月比6.9%増。3カ月先の業況見通しDIは▲7.7から▲38.5となった。

大雪の影響により客数が減少したものの、一部企業において惣菜の売れ行きが堅調であったことから、全体の売上額は前年同月を上回っている。

飲食料品売上高前年同月比



	22年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月
飲食料品	-4.1	-4.9	-4.4	-4.9	0.2	2.4	1.0	7.5	-1.2	1.9	4.2	6.0	6.9

## サービス業の動向

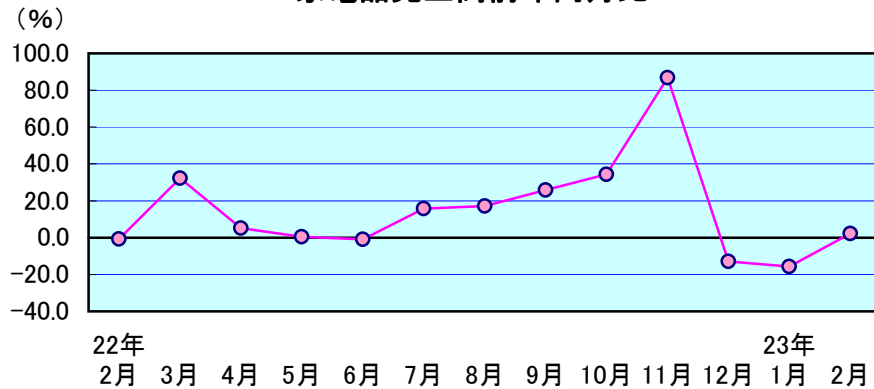
### 4 家電品

#### 横ばいとなっている

売上高は前年同月比2.2%増。3カ月先の業況見通しD Iは▲50.0から▲66.7となった。

薄型テレビの売れ行きは落ち込んでいるものの、白物家電等の売上げが好調である。

家電品売上高前年同月比



	22年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月
家電品	-0.8	32.3	5.1	0.4	-1.0	15.7	17.2	25.9	34.3	86.8	-12.9	-15.6	2.2

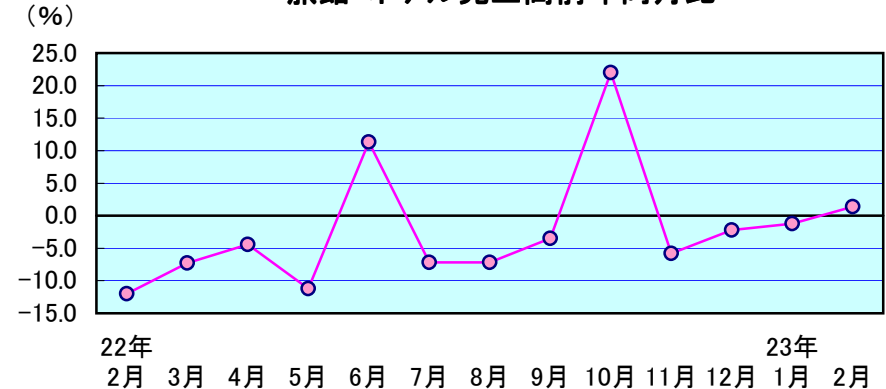
### 1 旅館・ホテル

#### 横ばいとなっている

売上高は前年同月比1.4%増。3カ月先の業況見通しD Iは▲13.3から▲50.0となった。

小正月行事の日の並びが良く、宿泊部門で客数が増加したことから、全体として売上額が前年同月を上回った。

旅館・ホテル売上高前年同月比



	22年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月
旅館・ホテル	-12.0	-7.3	-4.4	-11.2	11.3	-7.2	-7.2	-3.5	22.0	-5.8	-2.2	-1.2	1.4



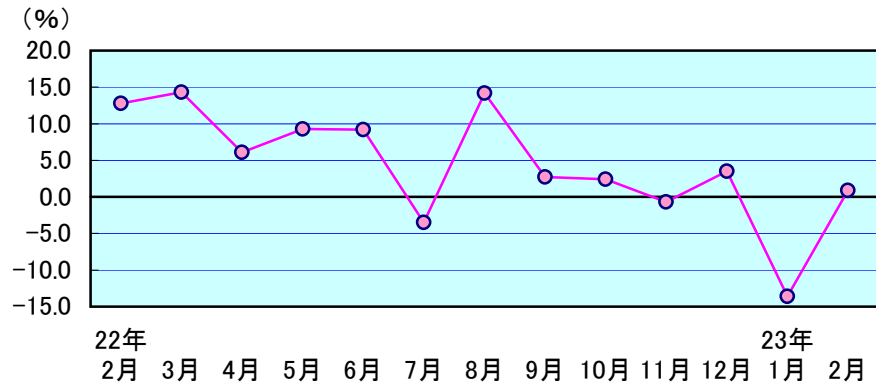
## 2 その他サービス

### やや弱含みとなっている

売上高は前年同月比0.9%増。3カ月先の業況見通しDIは15.4から▲38.5となった。

運輸業において、燃料価格高騰に伴い売上額は増加したものの、採算面が悪化している状況が見受けられる。

その他サービス業売上高前年同月比



	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年	1月	2月
その他サービス	12.8	14.3	6.1	9.3	9.2	-3.5	14.2	2.7	2.4	-0.7	3.5	-13.6	0.9		